

令和3年度 入学試験（学部・一般選抜） 国語

国語では、解答の書き方・表現を一つに限定しがたい設問について、採点基準に近い形の出題意図を示す。

1

問（一）（解答例）

ホップズは、他人の欠陥を笑うことは小心のしるしであるとみなしており、笑うのは自分に最少の能力しかないことを意識している人々であり、実のところ真に愚かなのは笑われる側よりも笑う側であるとして、笑う者を厳しく批判しているから。

問（二）（解答例）

差別や偏見を是正し、公正で中立な姿勢を求めるのが本来のポリティカル・コレクトネスであるがこれまで優位におかれていた人々に対する是正要求が過度になりすぎると、暴力的にもなり、逆の意味で公正や中立が保てなくなることが生じてしまうこと。

問（三）（解答例）

社会にとっての心配の種を笑うことで、笑われる者に対して懸念を表明し、社会の矯正を表現しているから。

問（四）（解答例）

社会が想定する不格好な状態を指すレッテルをその人の状態に当てはめてタイプ化し、当該人物の特殊性や固有性ではなく、そのタイプを通して人物を見るということ。

問（五）（解答例）

「出来合い」の枠自体が劣ったものとされるものでなく、プラスの評価を受けるような対象であったとしても、イメージ通りに振る舞おうとすればするほど、その特徴が過度に強調されてしまい、その不自然さを滑稽に感じるから。

問（六）（意図・基準）

本問は課題作文に当たる。文章・構成面では、字数が8割以上あり、最後まで書き終えていること、誤字・脱字がなく、全体の構成がきちんと構築されていることを求めている。内容面では、本文の内容を踏まえていること、指示されている内容にふさわしい具体例を挙げていること、論旨が一貫し、結論まできちんと書かれていることを求めている。

問（七）

(a) 謙虚 (b) 浸透 (c) 警鐘 (d) 臨機応変 (e) 清楚

2

問（一）（解答例）

身の上は気楽そうに見えても、心の中で辛いことのあれこれがきっと増大してしまうの
でしょう。

問（二）（解答例）

旅中の身なりのみずぼらしさとは裏腹に、旅先の風光の情趣を享受して心は豊かになる
こと。

問（三）（解答例）

長寿を願い事にはなさってくださいよ。

問（四）（解答例）

知人が今どこでどうしているのかを案じ、便りを待ちわびる心情。

問（五）（解答例）

（a）副助詞・添加（b）終助詞・念押し（c）係助詞・強意

3

問（一）解答例

本来の状態にもどること。

問（二）解答例

以前のやり方はこうであった。今こうしているのは以前とは異なっている。

これは彼の本性（本質、もともとの性質）ではない。うわべを飾って世間を欺いているのだ。

問（三）解答例

本質をとらえたことば。

問（四）

過

問（五）解答例

過失は避けることができないが、それを反省して改め、本来のあるべきすがたにもどることが大切だ。